

浅間山麓

未来への遺産

Vol.78

縄文の動 弥生の静



縄文土器(右)と弥生土器(左)
縄文土器は御代田町川原田遺跡出土国重要文化財、弥生土器は円生坊遺跡出土



宮平縄文遺跡(豊昇)

企画展

縄文の動 弥生の静

11月30日(日)まで

浅間山麓御代田の里に最初に暮らし始めたのは、1万2000年前の縄文人であった。以来、途切れることなく人が住み続け、今日の1万5000人に近い人口の礎となった。

狩りと植物採集で生計を立てていた縄文時代に続き、弥生時代には稲作が導入された。この高冷地に稲作を根付かせようとした2000年前の人びとの労苦は、相当なものだったにちがいない。

そうした人びとの世界観は、それぞれが作った器に表現されている。

縄文土器は狩猟採集民の器、弥生土器は農耕民の器である。過剰装飾とまで呼ばれる文様を施す縄文土器と、あくまでシンプルで機能性を追及した弥生土器には、一目瞭然の差異がある。しかし双方ともに実用の器でもあった。

ジェンダー、すなわち男女の社会的な性別差による役割分担から見ると、土器作りは女性の仕事であった。

かつて御代田に住んだ縄文女性たちは、5000年後には国の重要文化財となるような、すばらしい原始造形を生み出したアーティストであった。

(広告欄)

www.minebea.co.jp

ミネベアの強さと特色…その3 グローバルな展開

ミネベアの生産拠点は70年代初めから海外で拡大発展を続け、事業拡大に大きな貢献をしています。

 **Minebea**
ミネベア株式会社

●本社 軽井沢工場 / 〒389-0293 北佐久郡御代田町大字御代田4106-73
TEL.0267-32-2200 FAX.0267-31-1350 http://www.minebea.co.jp

ミネベアは世界14ヶ国に28ヶ所の製造拠点、43ヶ所の営業拠点、50,000人以上の社員を擁するグローバル企業です。特に1973年にシンガポールで海外における本格的な量産活動を開始以来、アジアを中心に拡大を続け、現在ではグループ全体の売上高に占める日本以外のアジア地域での生産高の比率は80%を超えています。

ミネベアの事業規模の拡大は、アジアを中心とした「海外での製造活動の発展」が大きな貢献をしたといえます。



みよた広報やまゆりは、環境保全のため、大豆油インキを使用しています。